

TPA-155B

新製品



■用途・特長

1dBステップで減衰量を変化させる事ができ、可変時に信号が瞬断しないのでリニアリティを要求される計測機器に最適です。周波数は800MHz～2200MHzと2200MHz～6000MHzの2段階に切替が可能です。最小減衰量1dBステップで最大70dBまで減衰可能です。

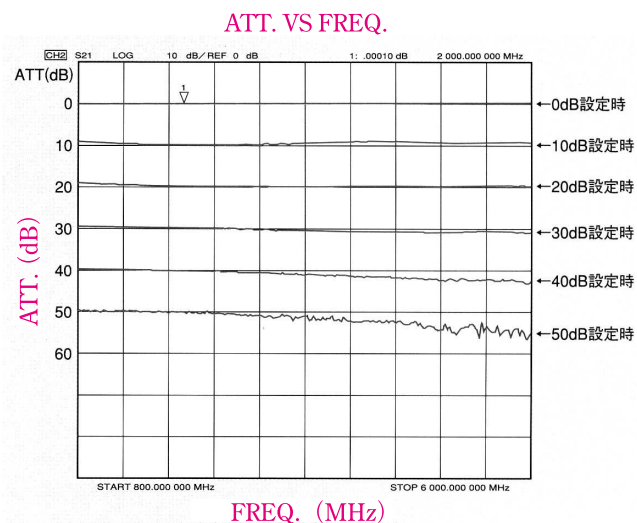
基地局の疑似伝送試験用のアッテネータ回路として使用可能で、特にリニアリティを求められる移動体基地局の実験評価用に最適です。

バンド切替	800 MHz設定時	2000 MHz設定時	
周波数範囲	800MHz - 2200MHz	2200MHz - 3000MHz	3000MHz - 6000MHz
可変減衰量	70dB		
減衰量ステップ	1dB		
減衰量誤差	±(5% + 0.5) dB		±(10% + 0.5) dB
挿入損失	8dB以上	10dB以上	
インピーダンス	50Ω		
VSWR	2.0以下		
最大入力レベル	-3dBm (ハンドリングパワー +18dBm)		
切替速度 (1dB・可変時の速度)	1ms 以下		
コネクタ	N-J		
外部制御	GP-IB		
手動制御方式	ロータリエンコーダ		
使用電源	AC100V～220V		
質量	4kg以下		
外部寸法	幅220×奥行285×高さ99 (mm)		
付属品	電源コード (2.5m)、2P-3P変換コネクタ、取扱説明書		

※減衰量誤差は800-960 MHz (800 MHz設定時) と1900-2200 MHz (2000 MHz設定時) の間では、±(3% + 0.2dB) となります。

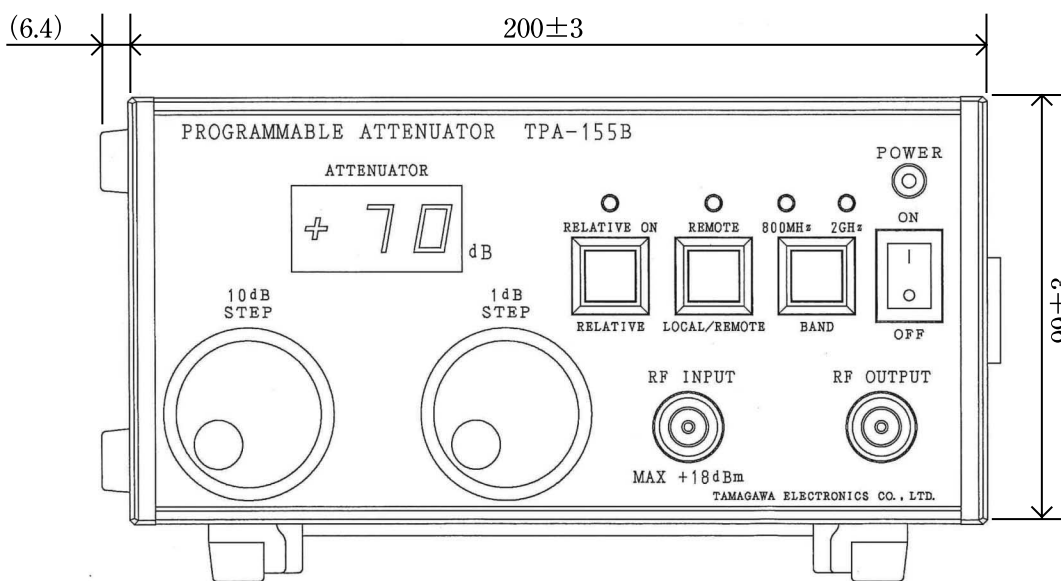
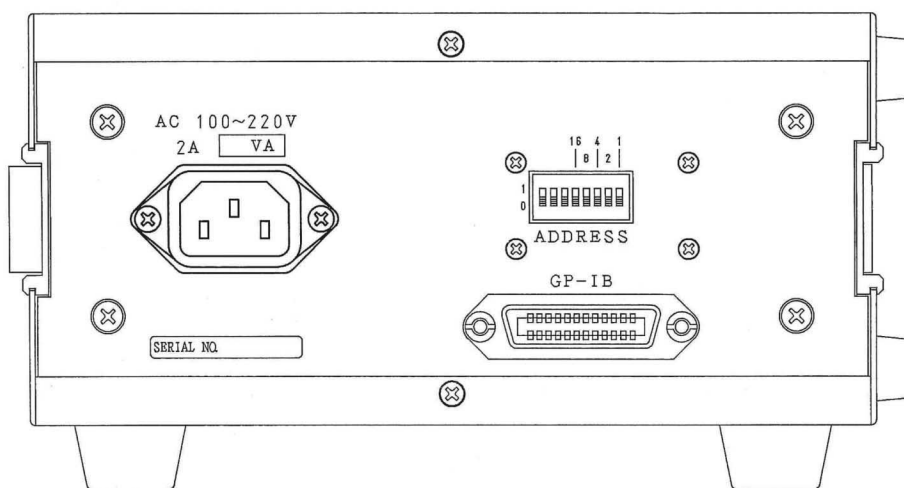
■周波数特性

■減衰誤差の時間変化量



■外形図

背面図



正面図